



道氣長存(道氣長存)と相生(相生)

Dogi-jangjon and Sangsaeng

結論

天地鬼神と天地誠敬信概念の意義

両概念は東学と大巡思想の異なる天地解釈方式を示し、超越天から神明へと繋がる韓国近代宗教思想の発展過程を反映する。

韓国近代宗教思想史における位置

東学思想超越天の気化作用を強調、性理学を超えた近代的転換の試み 大

- 巡思想神明概念の受容により東学が成し遂げられなかった宗教的近代性
- を完成 両思想はともに自生的近代性を追求し、韓国固有の近代宗教思想
- を形成

今後の研究方向

- 誠敬信概念の実践的意味の探究と現代的適用可能性 西洋
- 近代性の東洋的起源と自生的近代性の比較研究
- 天地関係と超越天概念の東アジア宗教思想史的発展の考察

V-42 道器長存(道氣長存)と相生(相生)

大巡思想と東学思想に現れる道氣長存(道氣長存)と相生(相生)概念の比較分析

目次

- 1 相生概念の定義と特徴
- 2 陰陽五行と相生の関係
- 3 道気長存の意味と背景
- 4 大巡思想と東学思想の相克-相生観点の差異
- 5 西洋と日本に対する二つの思想の観点比較
- 6 結論および示唆点

相生概念の定義と特徴

- 相生(相生)は大巡思想と東学思想で核心的に論じられる概念
- 大巡思想における解冤相生の抽象的概念の登場—調理と気化、土(土)による仲裁的役割
- 東学思想では相生が相対的に浮上しない

道気長存と相生—大巡思想と東学思想の比較

陰陽五行と相生の関係

- 陰陽五行(陰陽五行)は東洋思想の核心的原理
- 大巡思想:陰陽合徳、三才確立など五行理論の発展、相生・相克原理に注目
- 伝統的解釈:陰陽五行は土(土)を中心に変わらない理(理)、外的変化は気(氣)で説明

道気長存と相生—大巡思想と東学思想の比較

道気長存の意味と背景

- 道気長存(道氣長存)は東学の水雲・崔濟愚の立春詩の一節に由来
- 原文:「道氣長存邪不入、世間衆人不同歸」

「道の氣運が長く保たれれば邪惡は入り込めず、世間の多くの人と同じくは巡らないであろう。」

- 『典經』では水雲の「道気長存」を甌山の「真心堅守(眞心堅守)」と対比
- 力(相克)に対して力で対抗する意味が強調された概念

大巡思想と東学思想の相克相生観点の差異

- 大巡思想:相克(相克)と相生(相生)を森羅万象の核心原理として格上げ
- 東学思想:斥倭(斥倭)のような相克(相克)の力を強調するが、究極的には相生をもって解決方を提示
- 相克と相生の均衡と調和が重要であると明示
- 『典経』において「悪を悪で報いることは血をもって血を洗うのと同じである」

道気長存と相生—大巡思想と東学思想の比較

西洋と日本に対する二つの思想の観点比較

- 大巡思想:東洋と西洋を相生関係として理解し、西学・東学のいずれも大聖人として評価
「東有大聖人曰東學 西有大聖人曰西學」(東有大聖人曰東學 西有大聖人曰西學)
- 東学思想:西洋への警戒心が強く、日本に対しても相克的態度を強調
「犬のような倭賊」などの表現に現れる相克的観点
- 日本解冤大巡思想は壬辰乱以降に結ばれた恨(隻)を解き、日本との歴史的解冤を通じて相生の方向を提示
言葉遣いを厚德にせよー相生に至る道

道気長存と相生ー大巡思想と東学思想の比較

結論および示唆点

- 道気長存(道氣長存)と相生(相生)概念を通じて見た東学と大巡の思想的発展過程
- 大巡思想の相生哲学は対立よりも調和と和解を通じた問題解決方式を提示
- 東学思想の道気長存は外勢に対する民族的抵抗意識を反映するが、大巡思想は相生的世界観へと発展
- 両思想の比較を通じて見た韓国伝統思想の解冤相生(解冤相生)哲学の現代的意味と価値